

2024 TRAINING
政策研究大学院大学

医療政策
短期特別研修



政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES

医療政策短期特別研修

1 コースの趣旨・目的

未曾有の超高齢社会への対応はわが国喫緊の課題であり、医療はその重要な柱の1つです。その際には、狭義の医療に限定せず、保健・介護・福祉・住宅・就労などの関連領域、さらには“まちづくり”まで視野に入れた総合的・戦略的な政策展開を図る必要があります。またこの間の新型コロナウイルスへの対応においては、医療対策に通暁した優秀な人材の育成の必要性が浮き彫りになりました。本研修では、講演と演習を組み合わせながら、超高齢社会と医療問題の本質の把握、国の政策の変遷・理念・課題、具体的な政策展開の方法等につき体系的な研修を行います。また、地域医療構想の策定、地域包括ケアの推進、医療従事者の働き方改革や医師偏在対策など医療制度改革が矢継ぎ早に進められていますが、本研修ではこうした政策課題への対応についても講義します。なお、この研修は、厚生労働省及び総務省の協力の下に政策研究大学院大学と自治大学校が連携して実施するものであり、研修の講師は、医療政策を専門とする大学教授・研究者や第一線でご活躍の医療関係者のほか、中央官庁の幹部職員が務めます。

2 研修の対象者

地方自治体の職員の方、及びシンクタンクや医療関係団体等の職員の方を対象とします。地方自治体の場合、現職が医療関連部門であるかどうかは問いません。年齢・役職に関わらず、旺盛な学習意欲とディスカッション等への積極的な参加意欲のある方を歓迎します。

3 研修の内容・進め方

本研修は、医療政策のポイントを押さえた講義と、事例演習、グループ討議などの演習を組み合わせ、短時間で高度な医療政策の企画立案能力を修得できるよう、体系的なカリキュラムを用意しています。なお、本研修は、研修生の自己研鑽や問題発見能力の向上も重視していますので、研修生には研修開始前に一定の予習(自治体の医療計画や参考図書を読むこと等)をしていただくほか、研修開始時に問題意識の紹介、最終日に研修成果の発表を行っていただきます。

予習および問題意識の発表

講義

医療政策の企画立案に必要な課目を用意した体系的なカリキュラム

- 総論 ① 医療政策概論
- ② 人口推計の手法、老年学からみた高齢者の特性
- ③ 地域医療構想、医師確保、医療費適正化等の計画・政策論
- 各論 ④ レセプトやDPCデータを用いた地域医療の分析・活用方法
- ⑤ 地域毎の医療供給のあり方、公立病院経営強化等政策展開の方法・実践論等



医療政策の企画・立案能力の向上

演習

- ① 事例演習…………… 具体的な問題事例を通じ、原因の分析、政策課題の抽出、解決方策の企画立案
- ② テーマ別グループ討議… 受講生の関心事項等を踏まえテーマを設定し、グループ討議
- ③ 個別発表…………… 研修当初に受講生が問題意識を紹介
研修の最後に受講生が研修成果をプレゼンテーション



研修成果発表

■2023年度医療政策短期特別研修時間割

日付	1限 (9:00-10:20)	2限 (10:30-11:50)	11:50-12:10	12:10-13:20	3限 (13:20-14:40)	4限 (14:50-16:10)	5限 (16:20-17:40)	17:50-18:40	
対面(集合)／オンライン	7/27 木	ガイダンス、自己紹介	日本の新型コロナウィルス対策	振り返りセッション(オリエンテーション)	昼休み	医療政策概論 日本の医療政策の変遷①②		予習用DVD視聴(~17:20)	振り返りセッション
	7/28 金	医療政策概論 日本の医療政策の変遷③④		振り返りセッション	昼休み	医療政策概論 日本の医療政策の変遷⑤⑥		振り返りセッション	
	7/29 土	人口推計の手法	老年学から見た高齢者の特性	振り返りセッション	昼休み	医療政策概論 日本の医療政策の変遷⑦⑧		修了生報告会	懇親会(17:30頃~)
	7/31 月	宮崎県の周産期医療システム	医療計画と地域医療構想	振り返りセッション	昼休み	疾病予防と医療費適正化・データヘルス計画・保健事業と介護予防の一体的実施	現場での疾病予防活動について	振り返りセッション	
	8/1 火		介護保険制度と介護保険事業計画	振り返りセッション	昼休み	医療に関する各種調査データ	在宅医療の実際と展望	人が尊厳を保ち生きるための医療提供体制とは 大都市地域密着型急性期病院の視点	振り返りセッション
	8/2 水		介護報酬制度の現状と課題	振り返りセッション	昼休み	高齢者医療制度の現状と課題	国民健康保険をめぐる動向	振り返りセッション	
	8/3 木	飯伊地区包括医療協議会と飯田医師会の取組	日本の介護保険の特徴と課題(国際比較の観点から)	振り返りセッション	昼休み	医師確保と医師の働き方改革について	疾病構造・医療資源(医師数等)の将来推計方法/DPCおよびレセプトデータの活用方法	振り返りセッション	
	8/4 金	病院の看護の役割	看護政策・訪問看護	振り返りセッション	昼休み	医療介護連携について	公立病院改革と地域医療の方向	振り返りセッション	
	日付	1限 (9:00-10:20)	2限 (10:30-11:50)	11:50-12:10	12:10-13:20	3限 (13:20-14:40)	4限 (14:50-16:10)	5限 (16:20-17:40)	17:50-18:40
対面(集合)	8/7 月	顔合わせ(9:30~)	オープンデータを用いた地域把握の実際(9:45-11:45)	振り返りセッション	昼休み	公立病院の経営強化について	診療報酬制度と政策	振り返りセッション	
	8/8 火	グループ討議		振り返りセッション	昼休み	住宅行政と福祉行政の連携	介護保険制度と高齢者医療制度の創設時の回顧と展望	振り返りセッション	
	8/9 水	補講	演習①	振り返りセッション	昼休み	専門分野としてのプライマリ・ケアの在り方	北海道の医療・介護提供体制の現状と課題(講義・ディスカッション)(~16:50)	振り返りセッション	
	8/10 木	演習②	医療DX推進の必然を考える	振り返りセッション	昼休み	個別発表・修了式(13:20-18:00)			



★ Photo by Nishikawa Masao

研修生の声

仙台市健康福祉局保健衛生部
医療政策課医療政策係 主事
金 翔平



政策医療に携わり初年度の身でありましたが、医療のみに留まらない、保健・介護・福祉・住宅・就労などの関連領域、さらには“まちづくり”までを体系的に網羅したコース内容に魅力を感じ参加いたしました。

地域課題は千差万別であり、それに対する対応策もまた同様ですが、一見関係の薄い領域も課題解決には非常に重要な役割を持っていること、そのため医療・福祉分野で完結せず、自治体が一丸となって課題解決に取り組む必要性があることを痛感いたしました。

研修中は頻りにディスカッションの機会があり、地域や職種といったバックグラウンドが異なることで、同じテーマでも全く違う意見が出ることも多くありました。こうした新たな気づき、また研修後も繋がる人脈を得ることができたのは、本研修において何よりも得難いことであったと思います。

本研修で得たことを活かし、関連領域とも協力し業務を進めていきたいと思っています。

岡山市保健福祉局保健福祉部
保健管理課 課長代理
山本 静子



医療政策短期特別研修では、医療・社会保障・健康施策の法改正の経緯や政策の変遷を体系的に学ぶことができました。特に、介護・福祉・住宅施策等を含めた地域包括ケアシステムの構築、医療DXやデータの活用、医師確保や働き方改革などの人材育成については、実践的な知見を得ることができました。

洗練された研修プログラムは、医療政策に関連する各分野を体系的に理解できるよう工夫され、最新の国の動向や施策化に向けた政策プロセスや評価・分析と、幅広く密度の濃い研修でした。また、行政や医療関係団体、シンクタンク等の職種や所属が異なる研修生がともに学び意見交換することで、より多角的な視点で気づきや思考を深めることができ、この度の出会いや繋がりは、私にとって貴重な財産となりました。

研修で得た学びを活かし、新型コロナウイルス感染症で顕在化した課題を整理し、地域のニーズや資源にあった保健医療政策の推進に向けて取り組みたいと思います。

一般社団法人
日本プライマリ・ケア連合学会
事務局長
井垣 敦



当学会内に新設する医療政策委員会の事務を担当するにあたり、議論の内容をより正確に把握するため、医療政策の基盤となる知識、医療制度の現状と課題を習得すべく本研修に参加いたしました。

この研修では約2週間にわたって、「医療政策」をあらゆる側面から学びます。医療政策の概論をまず一気に学習し、その後各論を学んでいくという順序で構成されており、日を追うごとに内容が繋がり、体系的に整理されていくことで、医療政策の歴史と展望の全体像を掴めるようになっていきます。異なる立場の研修生同士による日々の振り返りが設定され、そこでのディスカッションを通じて、より多角的に理解を深めることができました。

この研修を通して、他人事ではなく自分のこととして捉えるということ、データを通して細かく正確に現状を知り将来を予測するという、そしてそれを丁寧な対話を通じて関係者と共有し対策へ繋げていくことの重要性を学びました。

学会として政策提言をまとめていく作業の中で、この研修で学んだ重要な視点、課題を活かしていきたいと思っています。

募集要項

- 研修実施期間 2024年7月25日(木)～8月9日(金) (※土曜日に講義を行う可能性あり。)
- 研修場所 政策研究大学院大学での集合研修とオンラインを併用する予定です。
- 定員 30名
- 出願期間 2024年3月18日(月)～5月17日(金) 厳守
- 選考結果連絡 2024年5月31日(金) 頃
- 受講費用 100,000円(税込)(予定)(※別途、指定図書の購入時の費用負担あり。)
- 出願方法 所定の申請書類のほか、所属機関の長の推薦状等が必要です。
出願資格や必要書類等については、募集要項をご覧ください。
HPでもご覧いただけます。(https://www.grips.ac.jp/jp/training2/domestic/)
- 問い合わせ先 政策研究大学院大学 医療政策コース
[住所] 〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1
[Eメール] iryou-seisaku@grips.ac.jp
[電話] 03-6439-6290(直通) [FAX] 03-6439-6040



政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES